

Ⅱ 拠点館事業

平成 25 年度 市直営事業実績

1 生涯学習事業研究

生涯学習事業の現代的課題について、具体の先進的事業の事例研究として「調査」・「研究」・「分析評価」・「成果の活用」等を実施する。

(1) 若者社会参画型学習推進事業

地域課題の解決や復興まちづくりの担い手である若者の「自分づくり」を社会教育的なアプローチを生かして支援すると共に、若者の学びの成果を生かした地域づくり活動等への参画を促進することにより、様々な人々と協働しながら身近な地域をより良くすることへの関心を高め、社会・地域の一員として自発的・主体的に行動できる人づくりを推進する。平成 22 年度から 24 年度の若者によるまちづくり実践塾に引き続き、平成 25 年度から各区中央市民センターで実施している。

① 情報屋台村

＜青葉区中央市民センター＞（受講生：3 名 大学生、高等専門学校生）

若者と団体（地域活性化に寄与する団体、NPO など）とをつなぐことを目的として、『第 4 回情報屋台村』を実施した。10 団体が参加し、来場者に対しての活動紹介や団体同士の交流など、事業のねらいを達成することができた。また、フリーペーパー『SANPO』の第 2 号発行のために、ミーティングを重ね、取材・編集活動を実施した。

② EAST プロジェクト

＜宮城野区市民センター＞（受講生：63 名 社会人）

4 月に前年度からの受講生による企画「まちあるき×フォトコン at 松音寺」を実施した。各々のキャリアやスキルを生かして、完成度が高く、気づきや学びのある内容で実践できた。この企画をやり遂げる中で、相手を知る・カバーし合うことへ、お互いを尊重する等の姿勢変化が見られた。

年度後半には、地域活動に既に参加している受講生との関わりを保ちつつ、学生の新規参加と併せて、若者が長く地域での活動ができる仕組みを検討する中で「まちをおもしろくする地域づくりのはじめかた」という講座を企画・実施して、次年度の事業につなげる試みを行った。

③ 仙白園プロジェクト・人

＜若林区中央市民センター＞（受講生：46 名 大学生、地域住民他）

若林区中央市民センターが養種園（実験農場の役割を担っており、仙台白菜を誕生させた）跡地に立地していることにちなんで、仙台白菜を主な題材に、若者を中心とした参加者が敷地内の畑で作物を育てることを通して交流を図る事業。活動は月 1 回程度で、平成 25 年度は、春から夏にかけては豆類とジャガイモ、8 月からは仙台白菜を育てた。畑作業のほか、収穫物を活用して、参加者が地域にお住まいの方と交流するイベントを企画運営

した。また、若林区中央市民センター周辺の地域を知るために南小泉界隈のフィールドワークを行ったり、仙台白菜のルーツをたどって塩竈市の浦戸諸島を訪ねたりするなど、学びや交流の輪を広げた。

④ たいはく学生まちづくりフォーラム

＜太白区中央市民センター＞（受講生：4名 学生、長町商店街青年部役員他）

平成25年度は、例年の長町地区に加え、区内の他地区のフィールドワークを行うことで、街の景観や特色などを比較・検討することからはじめ、学生たちが考えた街づくり等についての考え方を商店街青年部と意見交換し、地元の情報を共有しながら、活性化させるための商店街の情報紹介シートを企画した。また、店舗情報紹介シートを活用するターゲットを若者層と想定し、内容・レイアウトや設置場所などを検討した。

成果としてフィールドワークを数回行うことにより、学生が長町地区の特色や課題について把握・分類し、まちづくりに関する企画の手法について実践的に学ぶとともに、地域との交流のきっかけづくりを行うことができた。また、学生は取材でのインタビューや交流会を通して、地域の方々とのコミュニケーションを深めることができた。

⑤ ICP Izumi Community Project

＜泉区中央市民センター＞（受講生：24名 ほか小学生親子21組44名）

泉区内に通学している大学生を中心とした若者受講生が、ネットワークを広げながら地域創造について考える企画講座である。受講生が持つ泉区のイメージなどを整理し、自分たちが取り組んでみたいことについて話し合い、自主企画を考えた。今年度は、泉区中央市民センター主催の「親子で大学たんけん」の中の、東北学院大学泉キャンパス見学に決まり、小学生親子が楽しく学べるように3コースの見学を実施した。受講生は、会場となる大学側との事前打合せや企画のプレゼンテーションなど、一つの事業を実施するまでの過程を学ぶ機会を得た。小学生にも分かりやすく説明できるように、嘱託社会教育主事の先生方からプレゼンテーションの効果やプログラム構成についてご指導いただいた。受講生にとって貴重な学びの場となったとともに、大学たんけん参加者にとっても普段入ることのない大学での体験や自分の将来について考えるきっかけとなった。

このほかに、泉青年会議所主催「合同ナイトパトロール」やふれあい学びネットいずみ主催の「遊びの天国」、「七小ゆめフェスティバル」綿あめコーナーといった地域行事にも参加した。

⑥ 「若者社会参画型学習推進事業」にかかる研修会及び成果報告会

＜中央市民センター＞

各区中央市民センターで実施している当該事業の参加者や担当者を対象に、情報交換会や成果発表会を実施し、各区中央市民センターの事業内容の再確認・見直しの機会を提供すると共に、受講者の参加意識の向上を図る。併せて、市民センターにおける本事業の普及・推進を図るために区中央市民センターが実践している本事業の成果と課題から、重要なエッセンス及びノウハウを抽出して市内にフィードバックすること、及び区中央市民セ

ンターの事業が円滑に進むように後方支援を行う。また、仙台市ジュニアリーダー連絡会「ずんだ」の活動を終了した若者を「若者の力を生かしたまちづくり」に橋渡しをする試験的な事業を実施。

(ア) 研修会・ボランティアセミナー(生涯学習課と共催)

(H25.8.21 参加者：社会教育施設等職員 33 名、若者ボランティア従事者 11 名)

若者を取り巻く社会状況から「なぜ今若者の社会参画が重要なのか」と題してご講話をいただいた。更に「仙台で若者が活躍するために必要なこととは」と題して以下の方々を招きパネルディスカッションを開催し、若者のボランティア活動に対する理解を深めた。

【講 師】NPO 法人 夢職人 代表理事 岩切 準 氏

【パネラー】

渡辺 一馬 氏 (一般社団法人ワカツク 代表理事)

由佐 充彦 氏 (NPO 法人ドットジェイピー 東北支部代表)

ビラール＝ニロファール 氏

(一般社団法人チャンス・フォー・チルドレン仙台事務局スタッフ)

(イ) 成果報告会 (H26.2.15 参加者：社会教育施設等職員 53 名 若者事業参加者 15 名)

各区中央市民センターの事業担当者、若者事業参加者が平成 25 年度の取組や成果と課題について発表し、コーディネーターや助言者からアドバイスをいただき、次年度事業に向けてのブラッシュアップを図った。

【コーディネーター】水谷 修 氏 (東北学院大学教授)

【助言者】

齋藤 純子 氏 (NPO 法人「せんだい杜の子ども劇場」代表理事)

菊地 竜生 氏 (仙台市市民活動サポートセンター長)

※所属、役職は開催時点

(2) 住民参画・問題解決型学習推進事業

地域特性に応じた市民協働による地域づくりを推進するため、住民と市民センター職員が協働して地域課題を発見し解決につながる活動を実践することにより、そこでの様々な学びのプロセスを通して地域づくりを担う人材を発掘・育成することを目的に、平成 23 年度から各区中央市民センターで事業を実施している。

① 地域元気クラブ

＜青葉区中央市民センター＞(受講生：9 名 参加者：多世代にわたる地域内外住民、学校教員他 300 名)

受講生が講座での学びを生かして、地域の資源や人材を活用し、地域を元気にする企画を次々と実践していくことで、地域活性化のためのノウハウや地域づくりに必要なネットワークを学んだ。(渋柿プロジェクト、地域学習会、地域の達人技、あそびでつながるまちづくり等)

② 地域の絆 再生プロジェクト

＜宮城野区中央市民センター＞（受講生：270 名）

東部市民センターでは昨年度のワークショップで行った地域に対する思い、理想の地域、現状の把握、未来デザインなどから地域課題解決へ向けてのアクションプランを考案し、25 年度は「東仙台耀きクラブ」“～伝えたい地域の歴史～再考”と“地域ブランドを創ろう”の二つの講座として実施した。

幸町市民センターでは福祉施設が多い幸町地区において、震災で浮き彫りになった災害弱者の立場にたった支援のあり方を地域課題としてとらえた。また災害弱者の立場を知り、その視点での支援ができる住民が今後の防災には必要と考えた。そこで人材育成に重点を置いた「地域に発信！さいわいまちづくりプロジェクト『地域防災リーダー養成講座』」を実施し、地域課題を解決できる人材育成に努めた。

③ 子どもたちに伝えたい六郷の暮らし～平成の六郷をふりかえる

＜若林区中央市民センター＞（受講生：25 名 六郷地域住民の方他）

震災による津波で大きな被害を受けた六郷の沿岸地域の状況を踏まえて企画した事業で、六郷市民センターと共催。平成 25 年度は、前年度に引き続き、被災前の地域の生活の記憶を残し子どもたちに伝えるため、20～50 代の住民を中心に概ね月 1 回の勉強会を実施した。そして、勉強会の成果をすごろくなどのプログラムに仕立て、六郷・東六郷の各小学校の子どもたちに伝える場を持った。

また、関連した取り組みとして、被災地域の現状を広く市民に知ってもらうためのスタディツアーを、本事業参加者の協力を得て実施した。

④ たいはく子育て支援ネットワーク事業

＜太白区中央市民センター＞（受講生：116 名 子育て支援者、施設、団体職員等）

子育て支援者のネットワークの拡充と子育て世代の支援される側から支援する側へのつながりを構築することをねらいとし、イベントや講座、講習会、研修会を実施した。“太白区初めてママのウェルカムパーティー”（88 名）や“0・1・2・3 おやこひろば in ながまち”（523 名）のイベントを通して、支援者と子育て世代がつながるきっかけを作った。その他講習会（36 名）や交流研修会（58 名）においては、子育て支援者同士の情報交換やスキルアップを図った。子育て世代を対象にマップ作り講座（7 名）を開催し、支援される側から支援する側へのつながりを構築し、地域での子育て支援の在り方を提案した。

⑤ 地域共生カンパニー「支え合いのまちづくり」

＜泉区中央市民センター＞（延参加者：827 名）

住民同士の結びつきが希薄になっていると言われている中、東日本大震災では共助や地域の助け合いの必要性が認識された。泉区中央市民センターでは、地区館と共催で、住民が地域課題を把握して問題解決にあたる力を付けるとともに、行政や大学等とも協働しながら、地域の一体感を醸成することで地域づくりを促進するよう事業を展開、平成 25 年度は地区館 2 箇所を拠点にモデル事業として実施した。

【将監市民センター】

みんなの居場所～コミュニティ・カフェを作ろう（延参加者：444名）

将監地区では、少子高齢化が急速に進み住民同士の結びつきが薄れてきている中、地域空洞化に伴う高齢者の孤立や買物弱者等への懸念が高まっている。こうした問題解決の一助として、地域の人々が互いに支え合い共に生きること目指し、子どもから高齢者まで地域住民が自由に立ち寄り交流できる居場所を作る試みを実施した。

平成 25 年 7 月 28 日（土） 「将監沼の散策と将監沼の歴史を学ぶ」を実施

終了後、仙台の郷土料理「おくずかけ」を作る。

平成 25 年 10 月 5 日（土） 「元気っ子広場」 居場所カフェを実施

昔あそびを通じてこどもから高齢者までの異世代交流

平成 25 年 12 月 7 日（土） 大人サロン「居酒屋 将ちゃん」

芋煮のご当地対決：宮城風 VS 山形風

【根白石市民センター】

泉区西部のまち興し～春待ち凧揚げフェスタ（延参加者：383名）

根白石をはじめとする泉区西部地区は、都市化や少子化、若者人口の流出等による地域の空洞化が懸念されている一方で、伝統ある地域団体や地域資源も豊富である。

根白石では「凧揚げ大会」を地域おこしのツールとして活用すべく、地域の団体等による企画会議を立ち上げ、地域の学校や児童館、町内会、商店街などの協力を得て準備を進め、行事への盛り上がりで地域コミュニティの活性化に取り組んだ。

平成 26 年 2 月 15 日 かむりの里 春待ち 凧揚げフェスタ(大雪により一部中止)

⑥「住民参画・問題解決型学習推進事業」にかかるワークショップ及び成果報告会

＜中央市民センター＞

各区中央市民センターで実施している当該事業の参加者や担当者、地区市民センター職員を対象に、報告会や情報交換会等を実施することを通して各区中央市民センターの事業推進を支援した。

（ア）参画と協働を進めるためのワークショップ（H25.9.7 参加者：39名）

「市民協働」の理念を広く普及させるため、生涯学習課と共催し、市民センター職員をはじめとする社会教育職員を対象に、先進事例の紹介やグループワークを通して、参画と協働を促し、市民の学びを社会や地域に生かしていくことの意義や必要性について参加者個々の知見を深めることを狙いとしてワークショップを開催した。

【講師】上田 幸夫 氏（日本体育大学教授）

（イ）成果報告会（H26.2.8 参加者：63名）

各区中央市民センター事業担当者及び事業参加者、市民センター職員、関係課職員、市民を対象に、各区事業の報告並びに3年間の事業の成果と課題等について総括する成果報告会を開催した。事業報告はすべての区が事業参加者と一緒に行い、内容について助言者から助言をいただいた。成果と課題等の総括については、コーディネーターや助言者による鼎談という形で実施した。成果報告会は、事例発表研究研修として職員研修

に位置付けた。

【コーディネーター】水谷 修 氏 （東北学院大学教授）

【助言者】 照井 栄一 氏 （元仙台市公民館運営審議会委員）

足立 千佳子 氏 （NP0 法人まちづくり政策フォーラム理事）

（ウ）事例発表研究研修会（H26. 2. 27 参加者：83 名）

本事業の後方支援の一つとして、住民と協働しながら地域課題の解決を目指すため、地域に根ざした市民センター講座の成果や課題を広く共有する場をつくり、仙台プランが掲げる「市民センターを拠点とした市民主体のまちづくり」の普及を図るために実施した。

【講 師】水谷 修 氏 （東北学院大学教授）

【事例紹介】八本松市民センター「男を磨きたい」

桂市民センター 「桂島緑地未来プロジェクト」

沖野市民センター 「東日本大震災後の地域の活動記録～おきのかわら版～」

（３） 子ども参画型社会創造支援事業

子どもたち（小学校中・高学年、中高生）が、積極的に地域の中で役割を持ったり、社会の構成員としてまちづくりに参加したりすることで、自分たちの地域の課題に気づき、社会・地域の一員として行動する視点を持つことにより、将来的に社会や地域で主体的に活躍できる人づくりをすることを目的として、平成 23 年度から各区中央市民センターで事業を実施している。

① ぼくらの学園～子ども参画型社会をめざして～

＜青葉区中央市民センター＞（参加者：127 名 中・高校生及びサポーター等は地域の成人）

中高生による地域の学校「ぼくらの学園」の一環として、サマーキャンパス 3 コースと交流学習室を開設。また、自主企画のための企画委員会を実施。その中から子ども情報局がスタートした。なお、子どもたちの活動を支える運営委員会の設置やサポーター養成を行った。

② キミと社会をアートで結ぶ！ワークショップ 「ぼくらのこども商工会」

＜宮城野区中央市民センター＞（受講生：63 名 小学生）

これまでの取組を継続する形で、小学校高学年の児童を対象に、地域の商店街の活性につながるようなアート作品を共同制作した。

はじめに、参加者一同で原町本通り商店街を訪問し、話を聞き、商店街の様子を知り、地域に愛着をもってもらうようにした。その上で、商店街の各商店を PR するために、各商店内に設置する、「起き上がり小法師」を制作した。作品の完成後は、宮城野区中央市民センターまつりにおいて、「作品づくりの実演および展示会」を行い、子どもたちが作品作りに取り組む様子を実際に見ていただいた。また、講座の最終回には、成果や作品を地域の方々に発表・紹介する「報告会」も行った。

③ チャイルドボランティア「チャボ」

＜若林区中央市民センター＞（受講生：35名 小学生・中学生）

誰かの役に立つことで社会・地域の一員として自分の存在の大切さを体感することができるよう、子どもたちにボランティア活動の機会をつくる事業。対象は当センター近隣の小学4年生～中学生で、平成26年3月現在35名が登録している。地域の団体や施設などの協力を得て、一年を通して月1、2回活動しており、平成25年度は、地域清掃、児童館等の行事の手伝い、被災した農地にヒマワリを植える手伝い、高齢の方に届ける宅配弁当に添える手紙書きなどの活動を行った。

④ 食を活かした仲間づくり

＜太白区中央市民センター＞（受講生：168名 区内の小中学生と宮農の高校生）

東日本大震災の影響で当初計画の大幅な変更は余儀なくされたものの、小・中・高校生の、学校を越えた交流とコミュニケーション能力の向上を目指すため、“食”を切り口に“トマト”を利用し、トマトの育苗と栽培とそれを使った食育ワークショップ、そしてまとめとしてオリジナルのレシピ集を作成した。

⑤ 夢をカタチに～パティシエ編～仙台の野菜 de スイーツ創ろっ!!

＜泉区中央市民センター・南中山市民センター共催＞（受講生：27名 小学生）

「仙台の野菜を使ったスイーツをつくる」をテーマに商品開発に取り組み、体験活動を通して、社会のしくみに気づかせるとともに、職業観をもたせたり、コミュニケーション能力を培ったりすることを目的とした事業である。経営コンサルタントの方や商品開発に取り組んでいる高校生の話から商品開発の流れを知り、野菜を使ったスイーツのイメージ作りのために、仙台市内の農家を訪ね、畑を見学し、野菜スイーツ工房で見学・試食を行った。次に、フードコーディネーターのアドバイスでひとりひとりスイーツの企画を考え、それらの発表会を行い、話し合いで試作品を決め、短大生のサポートを得て、試作を行った。さらに意見を出し合い、最終的な野菜スイーツを決め、活動報告会と試食会を行った。受講児童、家族、学校の先生、お世話になった講師のみなさんなど70名を超える参加があり、受講児童が考案した「星くずキラリ・タルト」を試食した。参加した方々から、美味しかったという感想をもらい、受講児童たちの達成感につながった。

⑥ 「子ども参画型社会創造支援事業」にかかるワークショップ及び成果報告会

＜中央市民センター＞

各区中央市民センターで実施している当該事業の参加者や担当者を対象に、報告会や情報交換会等を実施することを通して各区の事業推進を支援する。平成25年度は、コーディネーターや助言者から各区事業の成果と課題についてアドバイスをいただき、事業のブラッシュアップを図った。

(ア)地域で輝く子どもを育むためのワークショップ (H25. 6. 28 参加者:72 名)

講師から「高知市での子ども参画型社会創造支援事業について」というテーマで事例発表をしていただき、主に子どもが運営する仮想のまち「とさっ子タウン」についてお話をいただいた。また、その後、グループワークを行い、地域で輝く子どもを育むためのアイデアを出しあった。

【講 師】森岡 眞秋 氏 (高知市市民協働部地域コミュニティ推進課 課長補佐)

(イ)成果報告会 (H26. 2. 1 参加者:70 名)

各区中央市民センター事業の成果報告を子どもや事業担当者から行った後に、「第Ⅰ期の総括と第Ⅱ期の展望」というテーマでパネルディスカッションを行った。

【コーディネーター】新田 新一郎 氏 (有限会社プランニング開 代表取締役)

【助言者・パネリスト】澤藤 英樹 氏 (東京アカデミー仙台校 講師)

佐藤 憲子 氏 (仙台市公民館運営審議会 副会長)

【記録 (ファシリテーショングラフィック)】

田中 聡子 氏 (まなびのたねネットワーク)

(4) 学び直しに係る高等教育機関との連携

<中央市民センター>

若者、子育て世代の親、地域の高齢者など、様々な世代の職に係るスキルアップを支援するため、高等教育機関と連携しながら、各世代の就業支援状況を把握し、その内容を踏まえ支援事業を企画・実施するもの。平成 23 年度に実施した仙台市内の就業支援状況の調査報告及び平成 24 年度の実践を踏まえ、平成 25 年度は、以下の 2 事業を実施した。

◎ 事業① ホーム&キッチン&ダディ〜仕事、家庭、ときどき料理〜

<中央市民センター>

子育て中の父親世代を対象として、父親が料理を通じて家事に参加することで、家庭内分業について考えてもらうきっかけとし、ひいては母親の育児・就労支援へとつなげていくことをねらいとして、宮城学院女子大学 (食品栄養学科 平本福子教授と平本ゼミの学生) と共催で、宮城野区中央市民センターにおいて、料理講座を開催した。平成 24 年度は料理講座を 2 回開催したが、平成 25 年度は、その成果を踏まえ、参加者及び講座回数を拡充して実施した。

開催日	内容	参加者
4 月 18 日 (木)	○料理実習と試食 ○グループごとの情報交換 ○全体での振り返り 等	10
5 月 16 日 (木)		7
6 月 20 日 (木)		11
7 月 18 日 (木)		9
8 月 24 日 (土)		11
9 月 19 日 (木)		11
10 月 17 日 (木)		10

◎ 事業② いきいきと地域で輝くために～シニア世代の持つ可能性について考えるワークショップ～

＜中央市民センター＞(参加者：30名)

高齢期の人生を主体的にデザインする視点や、働くことの意義や社会貢献について改めて考えるきっかけを提供すると共に、ボランティア活動を含めた就労を通じての自己実現や、そのために必要なステップについて考えを深めるための講座を中央市民センターにおいて開催した(3月1日(土))。講座には、鹿屋市柳谷集落自治公民館長 豊重哲郎氏を招き、柳谷集落でのコミュニティビジネス等についての実践紹介や、高齢期になっても生きがいをもって活動することの大切さなどを講演していただいた。講演後は参加者同士で意見交換すると共に、高齢期の働き方などをグループごとに話し合った。

(5) 地域づくり大学院

◎ 事業 「地域づくり学び隊」

＜中央市民センター＞(7回実施 受講者：38名 延参加者：207名)

地域づくりを牽引するリーダーを育成するため、市民センターの市民企画講座参加者、地域団体等の市民や市民センター職員を対象として、地域づくりに関わる専門性を高める研修を実施する。平成25年度は、前年度学習の応用編と位置付け、グループごとに設定した地域課題の解決を図るため、受講者同士の学び合いに重点を置き、演習形式で学習を実施した。併せて、先進事例に関する講演及び事例視察等も実施した。

(6) 学習成果社会還元事例研究

◎ 事業例 まなびごっこ

＜若林区中央市民センター＞(136回実施 延参加者：2730名)

若林区内で活動する生涯学習指導者ボランティアグループ「まなびごっこ」がこれまでに培った知識や技術を生かして、当センターと共催で誰でも参加しやすい内容の講座・教室(男の料理教室、女性のための囲碁教室、映画上映会など13種類)を開催した。

(7) その他の生涯学習研究事業

◎事業例 泉区の社会教育を考える会

＜泉区中央市民センター＞(6回実施 延参加者：89名)

区内の社会教育について、区内嘱託社会教育主事や子どもに関わる関係機関の方々と考える機会を持ち、泉区の社会教育事業について活性化を図った。

2 広域規模の学習支援

(1) 広域規模の学習プログラムの実施

全市・区規模の学習支援、場合によっては複数の区の連携による取り組みを推進する。市政各般の領域に係る施策、市民の課題ニーズを考慮するとともに、地域に濃淡なく生涯学習が行われるよう学習プログラムをつくり、実施する。

① 仙台明治青年大学

＜中央市民センター＞

地区市民センターの老壮大学やシルバーセンターのせんだい豊齢学園を修了した高齢者（61歳以上の仙台市在住者）が学習をさらに深め、豊かな社会生活を営めるよう、自主的学習意欲の向上が図れるような学習会や大学祭などを開催する。本科生として6年間、その後研究生として引き続き籍を置くことができる。平成25年度は新入生68名が入学し、在籍者数は766名となった。

【主な活動】

活 動	活動内容	実施回数	延参加者
学習会	○定期講座 太白区文化センター楽々楽ホールを会場に、年間17回開催。1回あたりの平均出席者数は524名であった。文化芸能、環境、健康、震災などをテーマに、外部講師を招聘し実施した。 ○対話集会(2回) 「仙台明治青年大学での学習」をテーマに、学生間で意見交換を行った。 ○大学祭(3回) 楽々楽ホール、仙台市中央市民センターを会場に実施。サークル団体の活動発表の場となっている。 ○式典 (3回) ・入学式 ・新年の集い ・修了・閉講式	25	12,290
広報活動	・学生間の情報共有を促進するため、学内広報誌「団欒」を発刊。 ・文芸誌「老学文苑」の発刊	—	—
ボランティア活動	・近隣小学校、児童館で昔遊びや囲碁・将棋、七夕飾り作り等を教えている。 ・近隣中学校で「仙台自分づくり教育」の一環として、キャリア教育の講師を務めた。 ・市民センター事業への協力や外部からの要請にも対応してきた。 ・学習会の度にワンコイン募金活動を行っている。	—	—

② 秋の子どもの日事業

秋休み期間中の子どもの居場所作りとして、各区中央市民センターで子ども向け事業を実施した。

開催日	主催館名	内容	参加者
10月12日(土)	青葉区中央市民センター	サイエンス☆フェスティバル'13 小中学生を対象に、中学生や高校生・大学生、各種団体などが楽しい実験や工作を提供した。	220
10月14日(月)	若林区中央市民センター	秋の子どもの日「ワカチュウ子どもランド」 小学校の秋休みに合わせて、火おこし、工作、似顔絵、茶道、マジックなど様々な体験の場を提供した。	702

③ その他の主な事業

館名	事業名	内容	開催回数	参加者
青葉区中央市民センター	子どものための日本語講座	日本語を母語としない小学生、中学生に日本語を学習する機会を提供し、充実した学校生活が送れるように支援している。	34	249
	せんだい日本語講座	在仙の外国人等に、日常生活に必要な日本語習得の機会を提供するとともに、日本の伝統文化に触れ交流する場を設定することで、国際交流や多文化理解を促進している。	668	5,247
宮城野区中央市民センター	宮城野学講座	市民企画員を中心に、宮城野の地形から生まれた風土や文化について、より広く知られ、後世に継承していけるようにするための講座を開催する。	4	40
	未来に伝えたい宮城野の記憶	人々の暮らしやまちの変遷・逸話など、市民の生活を後世に伝える、資料(アーカイブ)づくりにつながる講座を実施する。	1	23

館名	事業名	内容	開催回数	参加者
若林区 中央市民 センター	家庭教育講座	就学前の幼児や小学生の保護者を対象に「子どもの社会性の育ち～家庭での育ちと集団での育ち」と題した講座を大学教授を講師に迎えて実施した。	1	27
	私の地方史研究	主に仙台市内の歴史・民俗を対象とし、有形資料の写真撮影、拓本のとり方、事実記載の方法などを学び、各受講者が調査報告書の作成を展望する。3ヶ年計画の2年目と位置づけ、資料の集積を図った。	12	37
	六郷・七郷を訪ねる会	震災の記憶をとどめるとともに復興を支援するきっかけとしてもらうため、六郷・七郷地域をバスで巡り地域の状況を見聞きするスタディツアーを、若い世代と市民一般を対象にそれぞれ実施した。	2	108
	バリアフリースポーツ「ボッチャ」普及事業	年齢・性別・障害の有無に関わらず楽しめるスポーツ「ボッチャ」を体験できる場として、月1回の定例会及び年1回の大会を開催した。	12	221
太白区 中央市民 センター	区民協働まちづくり事業	秋保地区と郡山地区の地域間・世代間の交流を促進する。	18	72
	あすと長町地域活性化事業	太白地区住民を対象に「食」・「スポーツ」・「人」をキーワードに『展示・体験』部門と『スポーツ・パフォーマンス』部門に分けてイベントを開催した。	1	2,000
泉区中央 市民センタ ー	みんなでジャンプ	地域の小学生を対象にスポーツをとおした地域交流と世代間交流を図る。また、スポーツ関係団体との連携を行い事業拡大を図った。	1	320

(2) ボランティア養成等人材育成

① 託児ボランティア養成

＜中央市民センター＞

「いつでも」「どこでも」「誰でも」学習できる「学びのバリアフリー事業」の一環として、子育て中の保護者が安心して学習できるように講座に託児を付設している。

託児付き事業の託児室は、市民参画による市民のためのものとしてボランティアの主体的な運営を前提としており、その中で活躍する託児ボランティアを支援するとともに、新たな託児ボランティアの養成・育成のための事業を実施した。

【研修内容】

事業名	内容	開催日	延受 講者
託児ボランティア 養成講座	市民センター託児ボランティアとしての活動に必要な知識や技術を学んだ。 ・オリエンテーション「託児ボランティアとは・・・」 ・移動学習「子どもを取り巻く環境①保育所見学」 仙台市向山保育所見学 ・講話「子どもを取り巻く環境②遊びと発達」 講師:仙台市向山保育所 ・講話「子どもの病気と事故」 講師:若林区家庭健康課 ・話し合い、実技「今後の活動に向けて」	9月 5日 9月12日 9月19日 9月26日 10月 3日	36
託児ボランティア 養成講座 in 青葉	より地域に密着したボランティアを育成するため、区中央市民センターを会場として開催。 ・オリエンテーション 「託児ボランティアとは・・・」 ・講話「子どもを取り巻く環境①あそびと発達」 講師:仙台市長命ヶ丘保育所 ・移動学習「子どもを取り巻く環境②保育所見学」 仙台市長命ヶ丘保育所見学 ・講話「子どもの病気と事故」 講師:太白区家庭健康課 ・話し合い、実技 「今後の活動に向けて」	1月16日 1月23日 1月30日 2月 6日 2月13日	32
託児ボランティア 活動支援 (連絡会・調整会 の開催)	市民センターで養成された託児ボランティアに対し、連絡会、託児調整会等の開催により、日常の活動を支援した。	5月15日 10月 8日 3月11日	130

【託児ボランティアグループ一覧】（平成 26 年 3 月現在）

グループ名	設立年月日	最寄の市民センター	会員数
さくらんぼ	H14. 5. 8	青葉区中央市民センター	3
ひまわり	H 9. 8. 1	三本松市民センター	10
プーさん	H 3. 1. 1	水の森市民センター	5
てっての会	H 6. 4	寺岡市民センター 他	8
ポッケの会	H 2. 3.25	広瀬市民センター	8
アリスの会	H 5. 7	中央市民センター	5
ぐるんぱ	H18.12	中央市民センター	4
にんじん	S59. 7. 9	東部市民センター	5
ハイジ	H22. 4	若林区中央市民センター	7
クリップ	H 9. 4. 1	沖野市民センター	8
でんでんむし	H12. 3.22	太白区中央市民センター	10
こんぺいとう	H 7.10. 1	茂庭台市民センター	3
たんぼぼ	H 4	富沢市民センター	9
ちゅうりっぷ	H13. 3.14	泉区中央市民センター	20
キャンディ	H22. 4	南光台市民センター	7
合計 15 グループ / 会員数 112 名			

② 図書ボランティア活動支援

＜中央市民センター＞

全市民センターのうち 29 館の図書室で、市民ボランティアの協力により図書の貸し出し等の運営を行っている。

【図書ボランティア一覧】（平成 25 年 8 月現在）

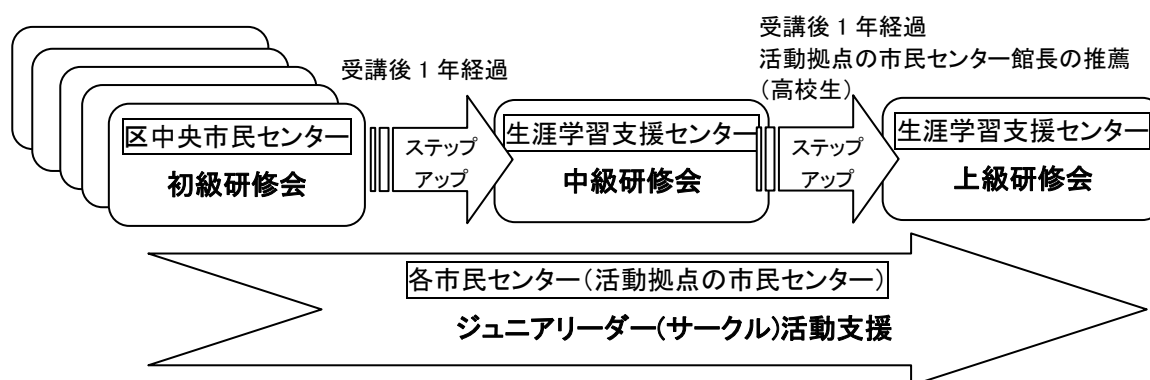
グループ名	活動館	会員数
さくらさくら	北山市民センター	11
カンナの会	福沢市民センター	12
図書ボランティアぽけっと	三本松市民センター	14
栞の会	落合市民センター	14
図書ボランティア	片平市民センター	7
（グループ名なし）	水の森市民センター	19
ひまわり	貝ヶ森市民センター	8
（個人登録）	中山市民センター	7
コスモス文庫	大沢市民センター	13
たんぽぽ	吉成市民センター	9
図書ボランティア	木町通市民センター	5
しおりの会	岩切市民センター	18
おはなしこぶた	岩切市民センター	3
（グループ名なし）	田子市民センター	6
ターンぽっぽ	東部市民センター	11
かすみそう	高砂市民センター	8
図書ボランティアみちくさ	荒町市民センター	10
図書ボランティア	七郷市民センター	10
（個人登録）	沖野市民センター	8
ブックスフレンド中田	中田市民センター	13
八木山市民センター図書ボランティア委員会	八木山市民センター	41
図書ボランティア縄文	山田市民センター	9
富沢市民センター図書ボランティアの会	富沢市民センター	35
個人ボランティア	東中田市民センター	7
茂庭台図書ボランティア	茂庭台市民センター	12
図書ボランティア	西多賀市民センター	10
図書ボランティアコスモス	八本松市民センター	8
ブックポケット	柳生市民センター	7
松森図書ボランティア	松森市民センター	15
そよかぜ	桂市民センター	5
合計 30 グループ / ボランティア数 355 名		

③ ジュニアリーダー（ＪＬ）育成・支援

ジュニアリーダーとは、青少年ボランティア活動の一環として、仙台市教育委員会の支援を受け各市民センターを拠点として活動している中学生・高校生である。

ジュニアリーダーの主な活動内容は、地域の子ども会活動を活性化するための支援であり、このような活動を通して、地域全体の活性化に貢献している。また、子供を対象としたイベントの企画・実施やその他のボランティア活動にも積極的に取り組んでおり、こうした活動が、ジュニアリーダー自身の人格形成にも役立っている。

ジュニアリーダーを育成するために、各区中央市民センターにおいて初心者を対象とした初級研修会、生涯学習支援センターにおいてステップアップ研修となる中級研修会・上級研修会を実施している。さらに、ジュニアリーダーの活動の拠点となっている市民センターにおいては、活動の支援や、ジュニアリーダーを指導者とした事業を行っている。



市民センター全体を通して、ジュニアリーダー一人ひとりが段階的に認定を受けながら、子ども会活動全般についての専門的な知識や技能を身に付け、自覚と責任を持って活動できるように支援し、さらに地域とのつながりの中で活動するジュニアリーダーを支援することによって、子ども会をはじめとする地域の活動を活性化している。

【ジュニアリーダーサークルの主な活動】

自主企画（ジュニアと遊ぼう、交流会など）、定例会及び連絡会、各種研修会
子ども会、市民センター、その他の機関からの要請による活動

- ・子ども会行事の実施及び企画の補助
- ・区民まつりへの参加
- ・市民センター事業への補助
- ・児童館行事のスタッフ など

○ジュニアリーダー初級研修会

新たにジュニアリーダーを志す中学生・高校生に対し、青少年のボランティア活動をとおして、地域の子ども会活動の活性化を図るために必要な、基本的な知識と技術を習得する機会を提供した。

また、区内のジュニアリーダー相互と、新たにジュニアリーダーに加わる受講生との親

睦を図り、今後の活動への意欲を高める。

主催館名	開催日	参加者
青葉区中央市民センター	7月 7日(日)	45
宮城野区中央市民センター	7月 28日(日)	27
若林区中央市民センター	12月 8日(日)	25
太白区中央市民センター	6月 29日(土)	11
泉区中央市民センター	12月 1日(日)	57

○ジュニアリーダー中級研修会

地域の子ども会の活性化と青少年のボランティア活動を積極的に推進するため、初級研修会を修了し、引き続きジュニアリーダーとして活動を行なっている中学生および高校生で、活動拠点となる市民センターの推薦を受けた者を対象に、より高度な知識と技術を習得するための研修を行なう。

＜中央市民センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

8月10日(土)～11日(日) 参加者：27名

- ・ジュニアリーダーの活動について
- ・効果的な話し合いの仕方
- ・広報紙の作成
- ・KYTの実践
- ・集団活動の進め方
- ・子ども会とレクリエーション活動

○ジュニアリーダー上級研修会

青少年のボランティア活動と地域の子ども会活動の一層の振興を図るために、仙台市ジュニアリーダー全体をまとめ、リードする立場に立つべき高校生ジュニアリーダーの資質向上と技能の研鑽のための研修を行なう。

中級研修会を修了し、引き続きジュニアリーダーとして活動を行なっている高校生又は高校生の年齢に相当する者で、かつ活動実績・資質ともに上級リーダーとして適格であり、活動拠点となる市民センターの推薦を受けられる者を対象とする。

＜中央市民センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

○7月14日(土)～15日(日) 参加者：23名

- ・ジュニアリーダーの活動について
- ・いろいろなボランティア活動について
- ・サークル活動(集団)運営のあり方
- ・活動計画の作成・準備作業
- ・ジュニアリーダーと遊ぼう（会場：榴岡児童館 連坊小路小学校）

【ジュニアリーダーサークル及び活動拠点館一覧】（平成 26 年 3 月現在）

区内連絡会	No	サークル名	登録数	活動拠点館名
青葉区（129 名） 連絡会 『星のすなごけい』 （青葉区中央市民センター）	1	MRVC くまっこ	38	広瀬市民センター
	2	かめ吉	19	福沢市民センター
	3	朝実巢あかよぼく	6	北山市民センター
	4	ア・ホテル	0	旭ヶ丘市民センター
	5	SKY	28	中山市民センター
	6	みずの森一ダー' S	27	水の森市民センター
	7	Blue Leaf Spirits	11	青葉区中央市民センター
宮城野区（40 名） 連絡会 『Lovers』 （宮城野区中央市民センター）	1	高砂フレンズクラブ	10	高砂市民センター
	2	岩切ガンキリーズ	1	岩切市民センター
	3	鶴ヶ谷 Yourself	8	鶴ヶ谷市民センター
	4	幸町 Fortune	7	幸町市民センター
	5	With Us 宮城野	14	宮城野区中央市民センター
若林区（75 名） 連絡会 『田んぼっ区』 （若林区中央市民センター）	1	郷郷七郷	8	七郷市民センター
	2	六郷村	4	六郷市民センター
	3	ビ野沖ヲ	2	沖野市民センター
	4	JARO	38	若林区中央市民センター
	5	ワンマイル荒町	12	荒町市民センター
	6	若林にゃくりん	11	若林市民センター
太白区（44 名） 連絡会 『ANON』 （太白区中央市民センター）	1	なかだかな	18	中田市民センター
	2	おいでください	0	生出市民センター
	3	ジュニアリーダーサークル Green Powers	0	秋保市民センター
	4	にしたがつつまん	13	西多賀市民センター
	5	ながまっくる	13	太白区中央市民センター
泉区（178 名） 連絡会 『ざわざわ森』 （泉区中央市民センター）	1	黒松ファミリー	9	黒松市民センター
	2	南光台アドバルーン	7	南光台市民センター
	3	根白石カリヨン	40	根白石市民センター
	4	将監くれよん	17	桂市民センター
	5	向陽台ばびふぺパレット	0	松陵市民センター
	6	長命ヶ丘巣子っふ	11	南中山市民センター
	7	高森流星サークル	14	高森市民センター
	8	寺岡流星サークル	17	寺岡市民センター
	9	七北田 JL サークルありす	28	泉区中央市民センター
	10	みちのく松陵	19	松陵市民センター
	11	加茂プレゼント	11	加茂市民センター
	12	パズル鶴が丘	5	松森市民センター
市全体 （ 466 名 / 35 サークル ） 連絡会 『ずんだ』 （中央市民センター）				

④ インリーダー研修会

子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会活動についての知識やレクリエーションなどの実技を学習するための研修会を実施する。

【平成 25 年度実績】

区	開催回数	延参加者
青葉区	9	429
宮城野区	9	398
若林区	5	219
太白区	10	456
泉区	26	1,160
合 計	59	2,662

⑤ 実習受入

○社会教育実習生

宮城教育大学、東北学院大学からの依頼を受け、各大学の社会教育主事資格取得を目指す学生を社会教育実習生として各区中央市民センターで受け入れ、公民館の概要や講座の企画立案・実践について指導している。

○児童・生徒の職場体験実習

小学生、中学生の職場体験実習を受け入れ、市民センター業務に関する学ぶ機会を提供している。

3 学校・地域連携推進

学校や地域団体等とネットワークをつくり、様々な人たちが連携して課題に取り組めるように必要に応じて、つなぎ手、支え手の役割を果たす。

(1) 学びのコミュニティづくり推進事業支援等

学校や市民センターが事務局となり、地域の様々な団体が連携し、中学校区または小学校区の児童、保護者、住民等を対象として、子どものすこやかな育ちを支援する地域のネットワークをつくり、様々な事業の実施をととして子どもを育む地域づくりを行っている。

3年間、市から事業委託を受け、委託終了後は自主実施となるが、市民センターでは、永く組織に関わり、活動支援を行っている。

また、学びのコミュニティ推進事業のほかにも、子どもの健全育成や地域づくりにつながる様々な取り組みについて、学校や地域の諸団体などとともに支援を行っている。

【平成 25 年度に市民センターが関わった主な事業(委託期間中の事業)】

館名・事業名	概要	実施回数	延参加者
太白区中央市民センター			
秋保地区学びのコミュニティ推進事業推進委員会(がんばれ秋保っ子)	秋保中学校区の各団体と協力して事業を実施することで地域全体で子どもを育てていくきっかけをつくった。 ・10月20日 がんばれ秋保っ子キックベースボール大会(参加者80名) ・1月11日 秋保カルタ大会(参加者138名) ・秋保地区行事カレンダー作成	8	270
生出地区学びのコミュニティ推進事業推進委員会(おいで里ネット)	子どもの9年間の育ちを地域とともに支えることを目標に、生出中学校区を活動エリアとして小中3校・同PTA・太白区中央市民センターを中心に設立。平成24年度は震災復興をテーマに子ども達が地域住民とともに学ぶ機会として下記の事業を実施した。 ・おいでサマーキャンプ(60名:赤石分校) ・被災地交流学习(50名:石巻市雄勝町)	7	290

【委託終了後の事業に対する継続的支援等】

館名・事業名	概要	実施回数	延参加者
青葉区中央市民センター			
学校地域連携支援事業	市民センターが保有する広範な学習情報や事業データの体系的な整理を引き続き行うとともに、課題を抱えながらも主体的な事業運営に取り組む各実施団体について、継続的に活動するための支援及び連絡会を開催した。	1	15
旭ヶ丘わんぱく森 ² がっこ	旭ヶ丘小学区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・森 ² ファーム、旭ヶ丘ホテルまつり参加、旭ヶ丘夏まつり参加、森 ² デイキャンプ、ポリ袋料理で美味しい非常食づくり ほか	11	165
かみすぎねっと	上杉山通小学校区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・おもしろ子ども会、Gakkou へ泊まろう ほか	4	100
まちがっこ	東二番丁小学校・幼稚園をはじめ、青葉区中央市民センター周辺の関係団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・花のあるまちづくり、どろんこ遊びをしよう！、東二夏祭り、防災キャンプ ほか	4	208
ひろせ山がっこ	広瀬小学校区、愛子小学校区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・学校に泊まろう！、宮城地区まつり	3	137
宮城野区中央市民センター			
榴岡かいわい学びのコミュニティづくり推進事業	仙台駅東口かいわいの幼児、小学生を対象として遊びの広場を提供した。また、地域の住民や中学生、ボランティア等の参加も促し、異世代間の交流を図った。 ・ 8 月 31 日 第 12 回つつじがおかワイワイ夏まつり ・ 1 月 25 日 第 7 回つつじがおかワイワイ冬まつり	2	800
若林区中央市民センター			
南小泉子どものふろさとづくり推進事業	学びのコミュニティ推進事業で立ち上げた「南小泉パパネット」が南小泉小学校の児童や保護者を対象に実施する事業への支援を行った。 ・7 月 27 日 なつなつ南小 ・2 月 22 日 ふゆふゆ南小	2	367
区内小学校合宿等支援	学びのコミュニティ推進事業から続く「通学合宿！連坊！」など区内小学校の合宿等の事業を支援した。 ・ 7 月 27 日 お化け屋敷(沖野小) ・ 7 月 27～28 日 学校に泊まろう会(六郷小) ・ 7 月 27～28 日 学校に泊まろう会(大和小) ・ 8 月 17～18 日 キャンプ in 南材(南材木町小) ・10 月 9～11 日 通学合宿！連坊！ (連坊小路小)	5	380
若林小あそび場支援	若林小学校を中心に放課後の児童に小さな冒険を秘めた遊びの場をつくる「若林小あそび場」の活動(概ね月 1 回開催)を、関係団体、若林児童館、若林市民センター、ボランティアとともに支援した。	14	1,438

館名・事業名	概要	実施回数	延参加者
太白区中央市民センター			
ながまち学びネット	長町中学校区(長町小・長町南小・鹿野小学校区)内児童・生徒や保護者、地域住民とともに、子どもたちの健全育成を目的とした参加体験型の活動を行い、地域コミュニティを深めていく。 ・8月1日 こども防災キャンプ(参加者32名) ・11月30日 こどものまちながまち (参加者約470名)	8	550
とみざ和がっこ	富沢中学校区の各団体と協力して事業を実施することにより、地域全体で子どもを育てていくきっかけをつくる。 ・7月6日 オープン富中(参加者75名) ・2月9日 こどものまち in 富中「かしわ CITY」 (雪の為に中止)	11	262
泉区中央市民センター			
学びのコミュニティ支援事業(南中山編)	南中山市民センターが核となった『まなびネット「いずみ中山」』を支援した。推進委員会毎月1回開催。 ・8月4日 万人淵での川遊び ・12月22日 門松づくり ・2月2日 南中山・北中山小学生交流会	15	132
区内学コミ連絡会	区内で活動している各学コミ委員会と情報を共有し、学コミの活動の促進ならびに拡大を図った。 ・2月6日	1	34
ふれあい学びネットい・ず・み「あそびの天国」	泉区中央市民センター全館を会場に、遊びによる交流を図る、子どもの居場所づくりの事業を行った。 ・2月16日	1	456
ふれあい学びネットい・ず・み「キャンプだホイ！」	市名坂小学校を会場に、七北田中学校区の小学生(高学年)を対象としたキャンプを実施した。 ・8月20～21日	1 (2日間)	185
ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会	七北田中学校区内の諸団体が連携し、青少年健全育成事業の展開を図るとともに、子どもの居場所づくり事業について検討協議した。	11	243

(2) 嘱託社会教育主事研究協議会区部会との共催事業

嘱託社会教育主事(社会教育主事資格を持ち学校に在籍している教員)研究協議会の各区部会と各区中央市民センターの共催による事業を通して、子ども達の健全育成や地域コミュニティの活性化を図り、地域で子どもを育てる環境づくりを推進している。

館名	内容	実施回数	参加者
青葉区中央 市民センター	7月 4日 青葉区社会教育推進連絡会研修会 7月 7日 ジュニアリーダー初級研修会 8月25日 ジュニアリーダー交流会研修会 9月 1日 子ども会対象事業「青葉チャレンジキッズ in 科学館」 11月23日 漫才から学ぶ、笑顔 UP!～親子いっしょに笑顔あふれる家庭づくり～	5	400
宮城野区中央 市民センター	7月28日 宮城野区ジュニアリーダー初級研修会・交流会 11月28日 嘱託社会教育主事・地域連携担当職員・市民センター職員研修会 1月18日 宮城野区インリーダー研修会事前打合せ会	3	90
若林区中央 市民センター	11月23日 ものづくり体験教室 (クッキーづくり、いわしの蒲焼づくり、生け花づくり、和とじ本づくり、凧づくり、竹細工教室) 1月15日 学校と連携したまちづくり市民会議	2	147
太白区中央 市民センター	6月29日 ジュニアリーダー初級研修会 7月27、28日 自然体験活動 8月22日 地域連携ネットワーク協議会 11月23日 第10回太白綱取り物語 12月14日 インリーダー研修会事前打合せ会	6	2,234
泉区中央 市民センター	7月 6日 市民センター嘱託社教合同研修会 8月17日 親子で根白石化石ホリダー 11月30日 親子で大学たんけん 12月 1日 泉区ジュニアリーダー初級研修会 1月18日 みんなでジャンプ	5	470

(3) 地域の絆づくり推進事業

東日本大震災における体験や記憶を次世代に継承し、震災後の地域の復興・再生に資する市民センター事業を実施し、地域力・市民力の醸成・発展を図ることを目的とする。具体的には、地区市民センターにおいて、大学・企業・NPO 等と協働し、災害や環境、コミュニティ再生、防災・減災教育などをテーマにして、専門性の高い事業や成果を大きく発信できる事業などを、地区館の提案型事業として実施する。

平成 25 年度の実施状況は下記のとおりである。

館 名	事 業 名
片平市民センター	片平地区・みんなでわいわい街づくり、絆づくり
広瀬市民センター	きずなカフェ～めざすのは人と地域の輝き～、田んぼアート
宮城西市民センター	ふるさと食だより
大沢市民センター	大沢地区地域防災安全ネット
落合市民センター	みんなの力で地域防災・減災
幸町市民センター	一人ひとりにやさしい防災の輪―防災でつながる人と人―
七郷市民センター	あのときを忘れない―震災の記憶
八木山市民センター	探そう、つくろう、「八木山新名物」
高森市民センター	新しいふるさとづくり事業
柏木市民センター	ふしぎ！発掘！再現！―不思議な地形をジオラマにしよう
鶴ヶ谷市民センター	私たちの鶴ヶ谷～これまでを学びこれからを考えよう～

4 学習情報収集・提供事業

市内地区館が収集している地域情報を含め、広く情報を集積し、多様な媒体に整理・保管し、広く市民が活用できるよう公開する。

(1) 学習情報提供システム

市民の学習意欲に応え、的確な情報提供サービスを展開することで、効果的に市民の学習活動を支援するため、生涯学習支援センターと市民センター（常駐職員のいない馬場・湯元以外の全館）とがコンピューターでネットワークを結び、生涯学習に関する、より新しい情報を提供するとともに、市民の学習相談に応じることを目的として、平成 12 年 3 月より現行システムを運営している。

なお、平成 26 年 11 月にシステム機器を更新し、新たな「学習情報データベース」に刷新する予定である。

＜ 仙台市生涯学習情報提供システムの特色＞

- ・ 市民センターで同じ情報を提供することによって、市民は身近な市民センターで学習情報を取得できる。
- ・ インターネットにより、家庭や職場のパソコンから情報を取り出すことができる。（個人情報についての制限有り）

【仙台市生涯学習情報提供システム登録情報数】

情報種類	平成 23 年度末現在	平成 24 年度末現在	平成 25 年度末現在
団体・サークル情報	989	956	960
人材・講師	541	519	522
事業	59	55	56
合計	1,589	1,530	1,538

【平成 25 年度 学習情報提供・相談件数】

相談内容	窓口・電話受付	インターネット経由	合 計
施 設	1	1	2
団体・サークル	47	26	73
事業・イベント	15	4	19
人材・講師	11	9	20
その他	2	0	2
合 計	76	40	116

【平成 25 年度 インターネット関連アクセス等件数】

市民センター全般	75,707,052 件	学習情報検索	353,479 件
年間概算閲覧者数	810,272 名	1 日あたりの閲覧者数	2,220 名
年間閲覧頁数	4,694,331 頁	1 日あたりの閲覧頁数	12,861 頁

(2) 市民センターホームページ(ブログ)の運営

URL : <http://www.stks.city.sendai.jp/sgks/WebPages/index.html>

仙台市市民センターのウェブページを開設し、市民センターに係る各種のデータを公開するとともに、学習情報提供システムの情報を検索できるページを設け、広く学習情報を提供している。

また、ホームページ内では、全市民センターがそれぞれブログを公開している。

なお、平成 26 年 11 月の学習情報システムの更新に伴い、ホームページもリニューアルする予定である。

<地区館のブログの例>

[新着情報](#) | [内容別索引](#) | [組織別索引](#) | [検索](#) | [サイトマップ](#) | [使い方ヘルプ](#) |

[仙台市トップ](#) > [教育](#) > [教育委員会](#) > [中央市民センター・市民センター各館](#) > [宮城野区中央市民センター](#)

ようこそ！宮城野へ！！

宮城野区中央市民センター

●講座のお問い合わせ（9：00～17：00）
TEL **022-791-7015**

●施設利用のお問い合わせ（9：00～21：00）
TEL **022-257-1213**

[ホーム](#) | [Eメール](#) | [拡大反転](#) | [記事](#)

05月<<<06月<<07月<08月

1 センターだより

1 主催事業情報

1 周辺区域の概要

1 施設のご案内※

1 部屋の使用料※

1 利用のご案内※

1 休館日のお知らせ※

1 案内図(Google Map)

※詳細ページへのリンク

講座レポート
宮城野区中央編
 宮城野区中央市民センター主催事業の様子をご紹介します。

講座レポート

地域のリンク

- 仙台市立宮城野中学校
- 仙台市立原町小学校
- 仙台市立宮城野小学校
- 仙台市立東宮城野小学校

新着情報

- 08/06(水) - □ ■ 原町本通りに七夕を飾りました！ ■ □
- 07/24(木) - □ ■ センターだより8月号をアップしました ■ □
- 07/01(火) - □ ■ 「あやこでしたい4つのこと〜その1:ベガ号で夜の星空さんぽ！〜」 ■ □
- 06/25(水) - □ ■ 市民企画講座「ゆったり運動フェスタ！」が開催されました ■ □
- 06/24(火) - □ ■ センターだより7月号をアップしました ■ □
- 06/01(日) - □ ■ 「第2回宮城野区中央市民センターまつり Mフェス」の開催が決定しました！ ■ □
- 05/24(土) - □ ■ センターだより6月号をアップしました ■ □
- 04/29(火) - □ ■ 「ゆったり運動フェスタ！」開催のお知らせ ■ □
- 04/27(日) - □ ■ センターだより5月号をアップしました ■ □
- 04/15(火) - □ ■ 「男子うちごはん」開催のお知らせ ■ □
- 04/01(火) - □ ■ センターだより4月号をアップしました ■ □
- 03/27(木) - □ ■ 講座レポート「あやこでしたい4つのこと」をアップしました ■ □

2014年8月6日(水)

□ ■ 原町本通りに七夕を飾りました！ ■ □

本日から仙台七夕が始まりましたが、宮城野区中央市民センターでも原町商工振興会さんからお願いを受け、原町本通りに七夕を飾りました☆

この七夕飾りは、来館者の皆さんや、ジュニアリーダーサークル「With Us 宮城野」のメンバー、子ども商工会2014に参加している子どもたちにも折り鶴などを作ってもらいました。

お近くにお出かけの際は、市民センターの七夕飾りもぜひご覧ください♪

宮城野の四季

夏本番の暑さを迎えました。まもなく市民センターの2階に鈴虫の涼しげな音色が響きますので、どうぞお楽しみに！

仙台市市民利用施設予約システム

学習情報検索

他館のページ

市民センターだより(全市分) PDF版

リンク集

(3) 市民センター事業ガイド

講座等参加者の募集中、募集予定がある事業について、区ごとにまとめ、毎月 1 回発行して、市民への情報提供を行っている。

(4) その他の学習情報提供事業

館名	事業名	概要	実施日等
若林区中央 市民センター	若林区の映像保存・活用事業	震災からの復興の様子や豊かな自然、地下鉄東西線開業に向けて変化する街の様子などをボランティアが撮影し、市政だよりの若林区のお知らせのページに「若林の新風景」として掲載したほか、これらの写真のパネル展示を区役所などで開催した。	通年
若林区中央 市民センター	語り継ぐ震災の記憶	六郷・七郷地域の住民 13 名から被災体験の聞き取りを行い、仙台在住の作家の協力を得て聞き書きの体裁で冊子にまとめた。冊子は 450 部印刷し、図書館などに配布した。	7 月～3 月

5 職員研修

市民センター事業に携わる職員を対象に、資質向上を図るための各種研修を実施している。

【研修内容】

研修名	実施日	受講対象	概要	参加者
新任職員研修会	4月25日(木)	・新任の市民センター職員 ・区役所関係課職員等	主に、市民センターの運営方針や事業の概要等について体系的に学ぶことをねらいとする。平成25年度は、上記に加え、学校との連携をテーマとしたグループ内での意見交換を実施した。	47
ジュニアリーダー(JL)活動拠点館担当者研修	4月24日(水) 10月9日(水)	・JLサークルの活動拠点となる市民センター職員	活動拠点となる市民センター・区中央市民センターのJL担当者が、JLの支援及び育成について理解や見識を深めることをねらいとする。平成25年度は、適応指導センターの指導主事から「中高生への接し方」等についての講話を聞くと共に、区ごとの情報交換を行うなどして研修を深めた。	86
館長研修会	10月25日(金)	・市民センター館長 ・希望する市民センター職員	市民センターの役割として期待される、地域づくりや人づくりを推進するために、館長として必要な知見を広げるとともに、意識の向上を図る。平成25年度は、市民活動サポートセンター長の講話等をとおして、地域における学習成果の発揮について研修を深めた。	52
事例発表研究研修会	2月1日(土) 8日(土) 15日(土) 27日(木)	・市民センター職員 ・区役所関係課職員及び市民局職員等 ・事業に参加した市民等	区中央市民センターで実施している先進モデル事業、各地区市民センターで実施している重要課題解決のための事業など、時代の流れに対応した事業の分析・検証を行う。また、職員を対象にその結果をふまえた研修を実施することで、意識の向上や、事業企画運営に関するスキルアップを図る。平成25年度は、区中央市民センターで実施している「住民参画・問題解決型学習推進事業」等、3事業の成果報告会と併せた研修を3回、地区市民センターの先進事例紹介に係る研修を1回実施した。	286

6 仙台市公民館運営審議会

社会教育法第29条、仙台市市民センター条例第13条に基づき、市民センターにおける各種の事業の企画実施につき調査審議を行う、本市が設置するすべての市民センターに共通の公民館運営審議会として設置している。

現委員は15人で、任期は平成25年11月1日から平成27年10月31日までの2年間となっている。

【委員名簿】〔平成26年8月1日現在〕

氏 名	勤務先・所属団体(役職名)
跡 部 薫	仙台市議会議員
伊 藤 誠	元 仙台市市民センター館長
井 上 範 一	仙台市連合町内会長会庶務理事
木下 る り 子	宮城県宮城野高等学校学校評議員
幾世 橋 広子	仙台市社会学級研究会会長
小 岩 孝 子	NPO 法人 FOR YOU にこにこの家理事長
小 地 沢 将之	仙台高等専門学校建築デザイン学科准教授
齋 藤 純 子	NPO 法人せんだい杜の子ども劇場代表理事
齊 藤 康 則	東北学院大学経済学部准教授
佐 藤 直 由	東北文化学園大学医療福祉学部教授
○ 佐 藤 憲 子	仙台市放課後子ども教室遠見塚 YOU-GO クラブコーディネーター
丹 治 重 廣	仙台市立将監小学校校長（仙台市小学校長会）
中 山 聖 子	NPO 法人ハーベスト常務理事
◎ 梨 本 雄 太 郎	宮城教育大学大学院教育学研究科教授
森 忠 治	舞台芸術プロデューサー・ワークショップデザイナー

◎:会長 ○:副会長 敬称略・50音順

【近年の審議内容（平成14年度～平成25年度）】

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成15年 10月7日	提言	市民センターにおける子どもの事業のあり方について	1 子どもの事業に取り組む課題と視点 2 ジュニアリーダーの育成と活動支援 3 学社連携・融合事業について 4 学校週5日制に対応した事業について
平成17年 9月12日	提言	市民センターにおける市民参加と市民協働の推進について	1 市民企画委員のプログラムづくりについて 2 市民センター運営における市民の参加について 3 市民参加を広げる事業活動を目指して
平成19年 10月30日	答申	市民センターの施設理念と運営方針の見直しについて	1 見直しの背景 2 見直しにあたっての考え方 3 市民センターの施設理念と運営方針

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成 21 年 10 月 13 日	報告	審議の経過報告	1 今期審議会のテーマ設定と議論の経緯について 2 経過報告のまとめについて <これまでの審議内容(各委員の意見)の概要> 1 市民センターの区への移管について 2 連携事業の調査から見てきたもの <市民センターが大切にしてきた社会教育の価値とは> (梨本雄太郎委員) <区行政との「融合」をめぐる> (石井山竜平委員)
平成 22 年 3 月 16 日	意見	「次期行財政改革計画(素案)」に対する意見書	区役所への移管については課題や懸念があることから、それらを解決・解消した上で判断するべきと考える。
平成 22 年 8 月 31 日	提案	市民センターを拠点とした新しいまちづくりの提案 ― 仙台プランナー	<市民センターを拠点とした新しいまちづくり> 1 意識を変える 2 人材発掘・育成とネットワーク化 3 市民の活動の場を生み出し支援する <新しいまちづくりに向けた市民センターの新たな一歩 / 今後の取り組み[提案] / 仙台プラン対応事業案> 1 住民参画・問題解決型学習事業 2 子ども参画型社会創造事業 3 学社連携・既存の事業範囲枠を超えた公共施設の連携事業
平成 23 年 1 月 25 日	意見	「市民センターを活かした地域づくりの推進」に関する意見書	1 検討の進め方について 2 組織見直しをめぐる課題について
平成 25 年 5 月 31 日	答申	仙台市市民センター事業の評価のあり方について	1 これまでの経緯 2 評価の現状と基本的な考え方 3 本審議会が実施する外部評価 4 本審議会以外が実施する外部評価 5 まとめ
平成 25 年 10 月 26 日	報告	平成 24 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果 4 まとめ
平成 25 年 10 月 26 日	意見	仙台市市民センターの施設理念と運営方針の見直しに関する意見書	1 「仙台市市民センターの施設理念」について 2 「仙台市市民センター事業の運営方針」について 3 「仙台市市民センターの施設管理の運営方針」について 4 東日本大震災を踏まえた内容の見直しについて 5 その他

【平成25年度の審議経過】

開催日	会議種別	協議議題
5月22日(水)	定例会	審議：(1)「仙台市市民センター事業の評価のあり方について（答申）」（案）について (2)平成24年度仙台市市民センター事業の評価について (3)「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の総括について
7月24日(水)	定例会	審議：(1)「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の総括について (2)平成24年度仙台市市民センター事業の評価について
8月28日(水)	定例会	審議：(1)平成24年度仙台市市民センター事業の評価について (2)「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の総括について
10月10日(木)	臨時会	審議：(1)平成24年度仙台市市民センター事業評価報告書（案）について (2)「「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の見直しに関する意見について（案）」について
11月1日(金)	定例会	協議：委嘱状交付式 (1)会長、副会長選出 (2)会議の公開、非公開について (3)議事録及び署名人について (4)公民館運営審議会定例会の日程について 報告：審議会の運営について
12月26日(木)	臨時会	報告：生涯学習支援体制の充実強化等について
1月28日(火)	定例会	審議：(1)平成25年度の仙台市市民センター事業の評価について (2)今期審議会の審議テーマについて
3月25日(火)	定例会	審議：(1)平成25年度の仙台市市民センター事業の評価について (2)今期審議会の審議テーマについて 報告：(1)市民センターの施設理念と運営方針の改定案について (2)仙台市生涯学習支援センターの概要について (3)平成26年度の事業について